



ナニワ 株式会社浪速技研コンサルタント

会社説明



2023.05

株式会社 浪速技研コンサルタント

— 説明目次 —

- 会社概要
- 沿革
- 建設コンサルタントとは
- 業務エリア
- 組織紹介
- 部門紹介（業務担当内容）
- 部門紹介
- 弊社の特色
- 必要となる技術力
- 各種有資格者
- 福利厚生
- 社是
- おわりに

会社概要

- 社 名：株式会社浪速技研コンサルタント
- 本 社：大阪府茨木市下穂積1丁目2番29号
- 創 立：1962年2月15日
- 資本金：67,500,000円
- 登録内容
建設コンサルタント業
地質調査業
測量業
一級建築士事務所
- 社員数：95名



株式会社 浪速技研コンサルタント

3

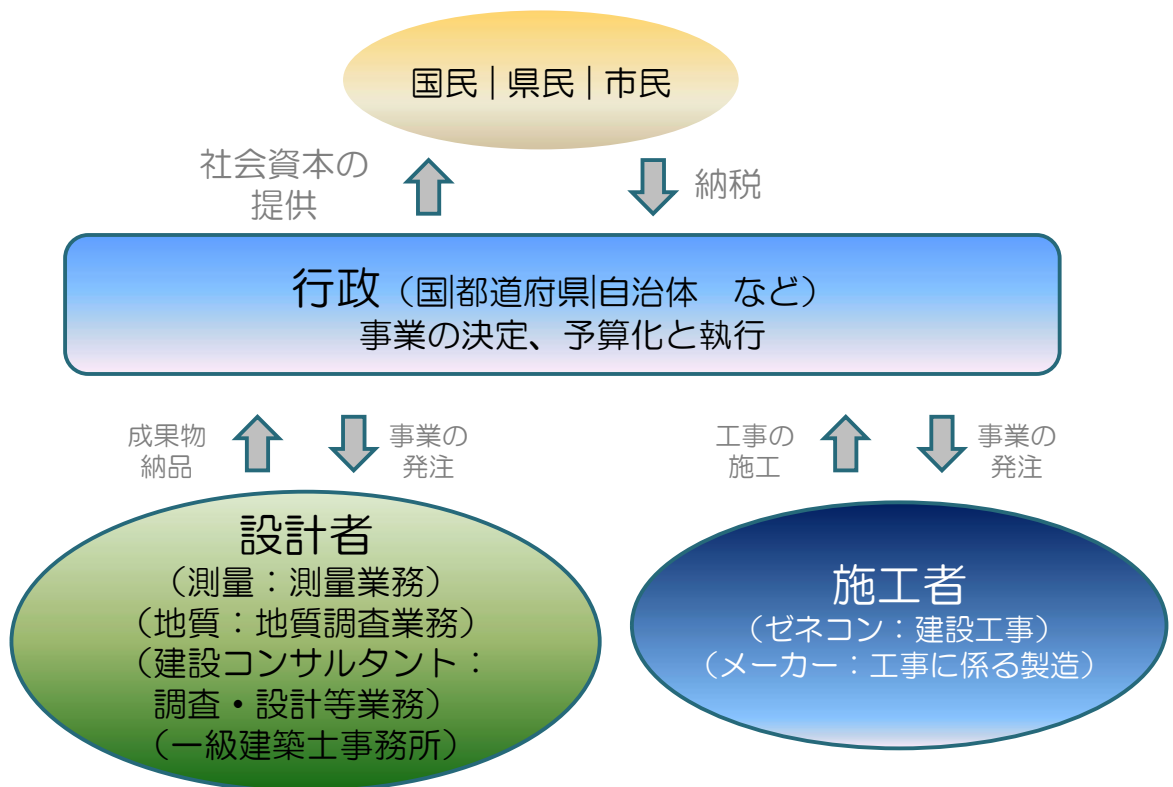
沿 革

- 昭和37年 2月 浪速技研社創立
- 昭和38年10月 株式会社浪速技研に改組
- 昭和45年12月 本社新社屋完成
- 昭和48年8月 株式会社浪速技研コンサルタントに社名変更
- 昭和54年10月 横浜営業所開設
- 昭和54年11月 山梨営業所開設
- 昭和56年5月 山梨営業所を甲府営業所に名称変更
- 昭和58年4月 神戸営業所開設
- 昭和61年2月 滋賀営業所開設
- 平成4年7月 横浜営業所を横浜支店とする
- 平成6年10月 岡山営業所開設
- 平成7年3月 本社新社屋完成
- 平成7年10月 神戸営業所を神戸支店とする
- 平成11年12月 奈良営業所開設
- 平成13年8月 津営業所開設
- 平成14年1月 和歌山営業所開設
- 平成15年10月 岡山営業所を中四国支店とする
- 平成15年12月 京都営業所開設
- 平成17年12月 広島営業所開設
- 平成20年1月 京都北事務所、南アルプス営業所開設
- 平成20年3月 中部事務所開設
- 平成20年11月 橋本事務所開設
- 平成20年12月 名古屋事務所開設
- 平成21年5月 但馬営業所開設
- 平成21年7月 新見営業所開設
- 平成23年1月 姫路営業所開設
- 平成30年6月 豊岡営業所開設
- 令和2年4月 奈良営業所を奈良支店とする
(増資に関する沿革を除く)

4

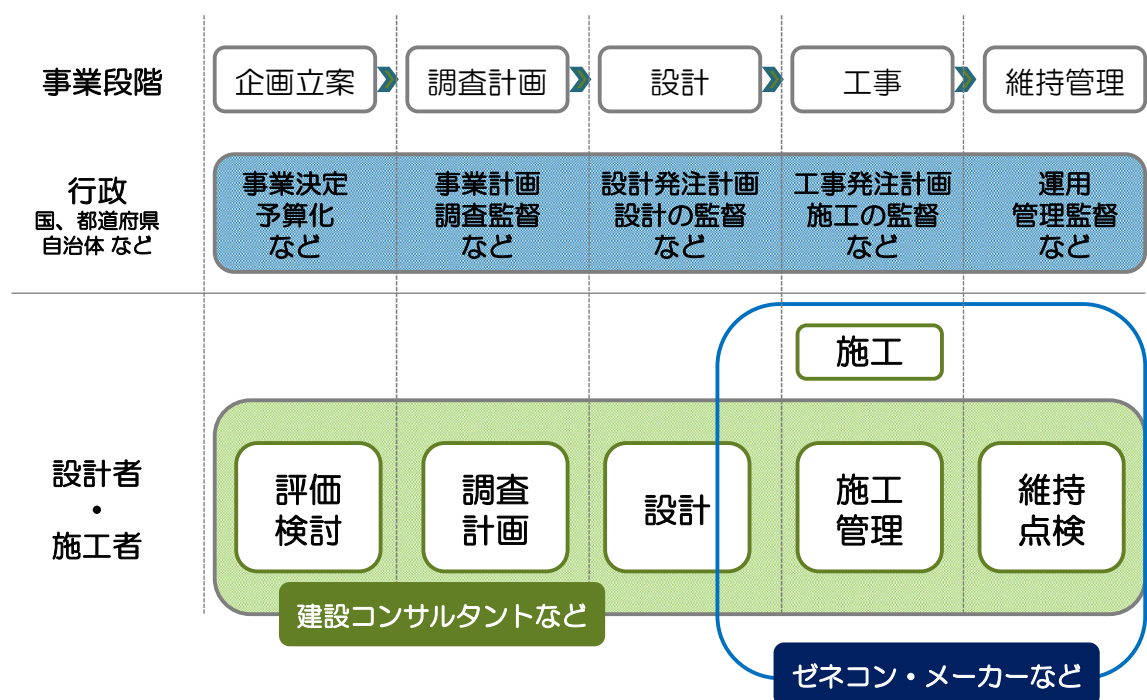
建設コンサルタントとは（１）

- 建設コンサルタントのビジネスモデル



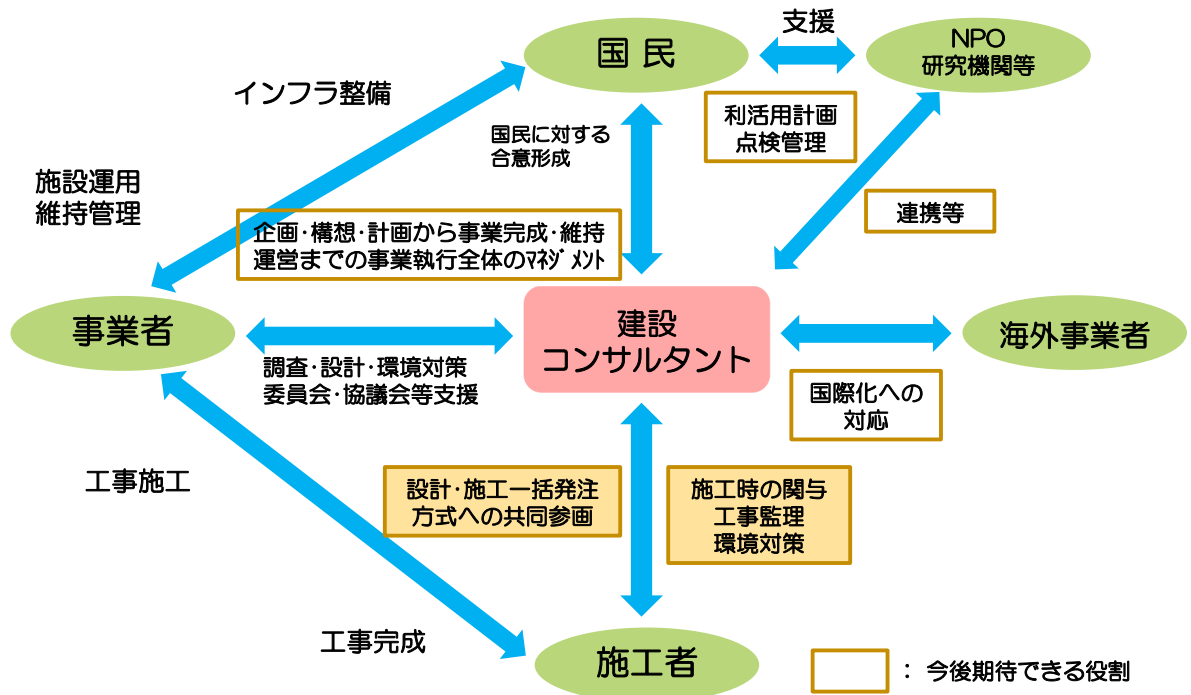
建設コンサルタントとは（２）

- 業務の流れ（発注者・受注者の役割）



建設コンサルタントとは (3)

- 建設コンサルタントの多様な役割



建設コンサルタントとは (4)

- 国土交通省の登録規定に則り、登録された企業または個人をいいます
- 建設コンサルタント業務等といえは、次の5業務を指します

- 土木関係建設コンサルタント業務
- 建築関係建設コンサルタント業務
- 地質調査業務
- 測量業務
- 補償コンサルタント業務

- 弊社登録部門

土木関係建設コンサルタント業務 (9部門/全21部門)

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 河川、砂防及び海岸・海洋 上水道及び工業用水道 造園 鋼構造及びコンクリート 地質 | <ul style="list-style-type: none"> 道路 下水道 土質及び基礎 施工計画、施工設備及び積算 |
|---|--|

部門紹介（業務担当内容）

- 技術1部
 - ・上水道部門
 - ・下水道部門
- 技術2部
 - ・道路部門
 - ・橋梁等構造部門
 - ・河川・砂防部門
 - ・都市再生部門(公園・都市計画)
- 技術3部
 - ・道路部門
 - ・積算部門
- エンジニアリング部
 - ・上水道部門（配管設計）
- 点検・調査部
 - ・構造物調査部門
 - ・現場技術部門
- 測量調査部
 - ・測量部門
- 支店・営業所技術部
 - ・上下水道部門
 - ・建設部門

部門紹介（道路部門）

- 道路技術者配置部署
 - 本社技術2部、本社技術3部、奈良支店
- 弊社での主な業務内容
 - ・道路計画
 - 交通需要予測、費用便益分析、道路予備・概略設計
 - ・道路設計
 - 道路設計、交差点設計、舗装設計
 - ・道路構造物
 - BOXカルバート、擁壁、斜面安定（解析～設計）、
軟弱地盤対策、落石対策
 - ・道路管理
 - 舗装点検・修繕、BOXカルバート点検、擁壁点検
標識、照明、遮音壁等
（劣化・視認性状況調査～補修・更新計画～維持管理計画）
 - ・その他
 - 電線共同溝、
環境アセスメント（振動、騒音、動植物）
建設工事積算

道路設計（都市計画道路等）



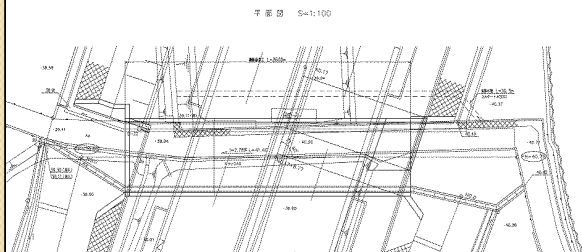
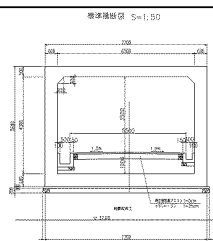
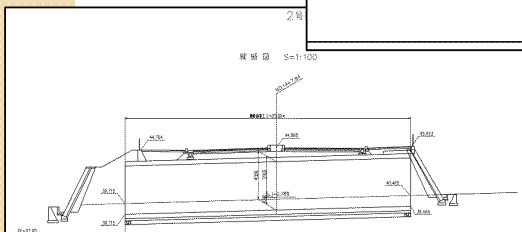
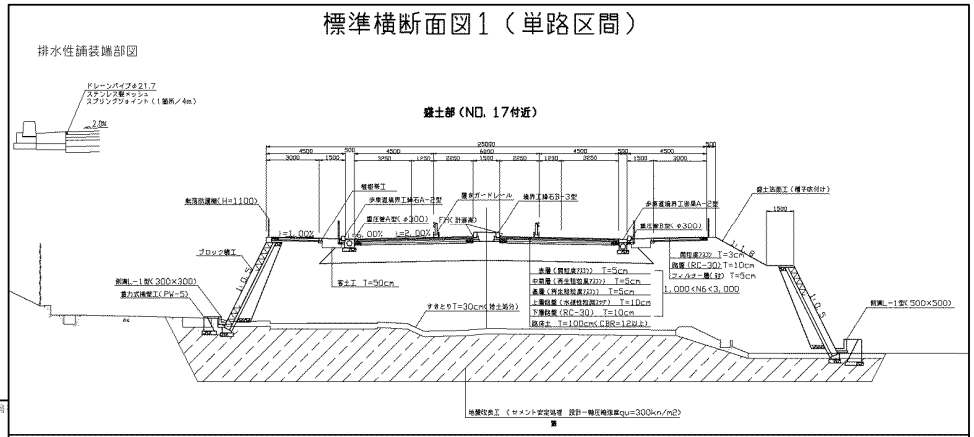
羽曳野市
道 都 道



株式会社 浪速技研コンサルタント

道路設計（都市計画道路等）

標準横断面図1（単路区間）



株式会社 浪速技研コンサルタント

部門紹介（河川・砂防部門）

- 河川・砂防技術者配置部署

本社技術2部、奈良支店

- 弊社での主な業務内容

- 河川構造物計画設計

主に護岸や樋門の計画・設計を行っています

- 土石流対策計画設計

山間部に発生する土石流による災害を未然に防ぐための対策施設の計画・設計を行っています

土石流危険渓流の砂防調査（堆積深調査・流木調査・礫径調査など）や測量を行い、これらのデータを基に土石流対策えん堤や渓流保全工の計画と設計を行います

- 砂防基礎調査

土砂災害防止法(土砂新法)にもとづく基礎調査業務を行っています

基礎調査の結果を基に土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域の設定を行います

砂防えん堤

- 砂防えん堤とは

砂防事業で整備する構造物のうち、代表的なものが土石流による災害を防ぐために渓流に設置する『砂防えん堤』です。『砂防えん堤』には、土石流を食い止める働きのほかにも、土砂を貯めて渓流の勾配を緩やかにする働きや一度に大量の土砂が下流に流れ出ることを防ぐ働きがあります

また、最近では、普段は、流れてくる土砂は貯めずに下流に流し、土石流が起きた場合にだけ土砂や流木を食い止める働きを持つ『透過型砂防えん堤』と呼ばれるえん堤も設置されるようになってきています

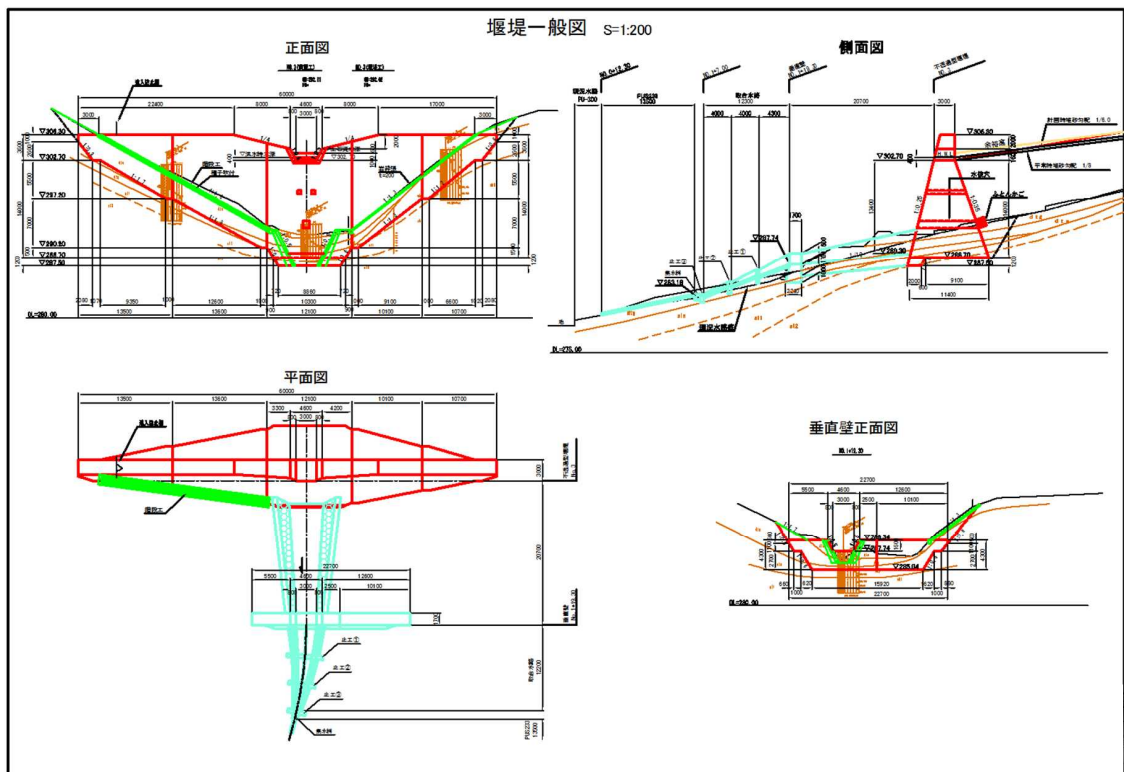


不透過型えん堤 兵庫県奥畑中谷川
(弊社設計)



透過型えん堤 奈良県麦谷川
(弊社設計、施工中写真)

砂防堰堤（兵庫県下）



部門紹介（橋梁等構造部門）

- 橋梁等構造技術者配置部署

本社技術 2部

- 弊社での主な業務内容

- 橋梁の計画設計

一般的な橋梁の計画・設計を行っています。

弊社では単純桁（主にPC橋）の設計が多数を占めており、河川を渡る橋梁が多いです。橋長決定から橋種選定・下部工形式選定・基礎形式選定・詳細設計まで主担当技術者が計画します

よって、橋梁だけでなく道路計画や河川計画の知識も身につけることが可能となります

- 橋梁耐震補強設計

既設橋梁に対して落橋防止システムの追加設計や橋脚の耐震補強設計などを行います。既設橋梁が古いと設計図書や竣工図書がない場合が多く、既設橋梁の寸法調査や非破壊検査、はつり調査などを行い、既設橋梁の配筋量などのデータを把握し復元設計を実施した上で、耐震補強設計を行うことも多々あります

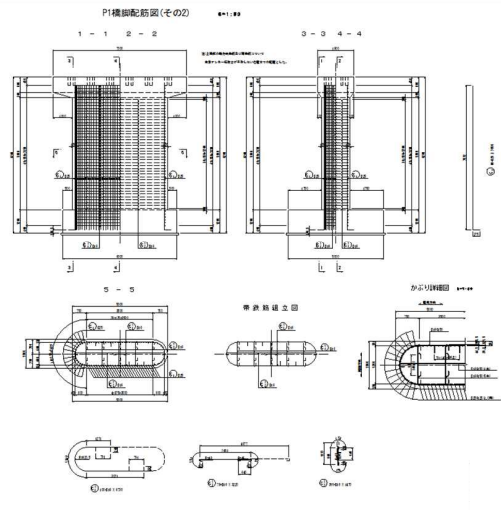
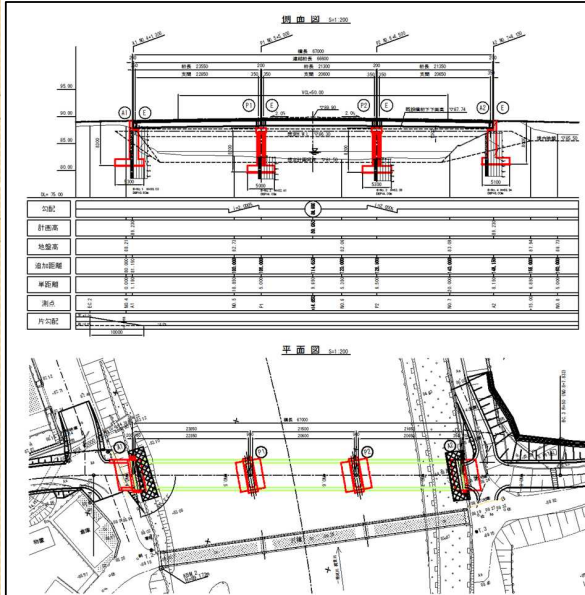
- 橋梁点検

各自治体の点検要領に基づき橋梁点検を行います。点検結果は定められた様式にて整理し提出します。この結果は各自治体で集計され、今後の橋梁長寿命化修繕計画の策定に用いられます

橋梁設計（プレテンション方式PC3径間連結T桁橋）

設計条件

橋梁規格		道路橋
設計活荷重	型式	A活荷重
橋長		プレテンション方式PC3径間連結T桁橋
支間長		67.000m
幅員		22.850m+20.600m+20.650m
橋断勾配		6.200m (有効幅員5.000m)
平面線形		2.0%
斜角		なし
支承		右80° 00'
道床		免震支承
橋面舗装		なし
型式		逆T式橋台、壁式橋脚
基礎形式		直接基礎
設計水平震度	A1橋台	K _h =0.17 (土砂 0.14)
	P1橋脚	K _h =0.17
	P2橋脚	K _h =0.17 (土砂 0.14)
	A2橋台	K _h =0.17 (土砂 0.14)
コンクリート設計強度 (鉄筋)	コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
	鉄筋	$\sigma_{sk}=50\text{N/mm}^2$
許容応力度	コンクリート	$\sigma_{ca}=8.0\text{N/mm}^2$
支持地盤	鉄筋	$\sigma_{ca}=160\text{N/mm}^2$ SD345
適用方案		粘板岩 (OM級)
		道路橋示方書・同解説 (H14.3)



部門紹介（都市計画・造園部門）

- 都市計画・造園技術者配置部署

本社技術2部

- 弊社での主な業務内容

- 都市計画

駅前広場計画・設計、駅施設需要予測解析

駅周辺開発事業評価業務

新駅開発申請書作成業務

低炭素まちづくり計画策定業務

団地再生（修繕、リニューアル）

⇒基盤設計、駐車場、アプローチ道路、雨水地下貯留槽

ニュータウン設計（造成、基板設計）

- 造園

公園計画・設計（街区・近隣公園）

⇒配置計画、施設計画、植栽計画、景観検討等

公園長寿命化計画

防災公園計画・設計

ランドスケープデザイン

遊具施設改修計画・設計

スポーツ施設計画・設計

駅前広場計画設計 (某関西私鉄駅東 公共広場 サンクンガーデン案)

阪急南千里駅
桜竹台デッキ

改札デッキ(既設)
E.V.(新設)

地区東デッキ
5800
1500 2000 200 2100
観覧幅 過路 スロープ
1.0% 1.0%

複合商業施設
(阪急ガーデンモール)

シェルター
地区東デッキ部増設

視点A

視点B

リザーブゾーン(NIPPO)
(1-2F:商業施設、3F~:住宅)

イベント広場(広さ:約29m×32m)
構内の利用率、市民のコミュニティー空間となる

フットライト(ベンチ)
緑意率(中木、低木)
(広場内緑被率>10.00%確保)

通り際のベンチ(フットライト内蔵)
広場内でモニュメンタルな箇所

■イベント時イメージ(長岡京市駅)
パンチ広場(2005)

■現況(計画広場中心部箇所)
設計:村野藤吾建築設計事務所

老朽化が原因で取り壊しが決定している村野藤吾設計のセンタービルを継承するため、外壁意匠をフットライトに採用するよう計画する。

上層:ベンチ活用
400

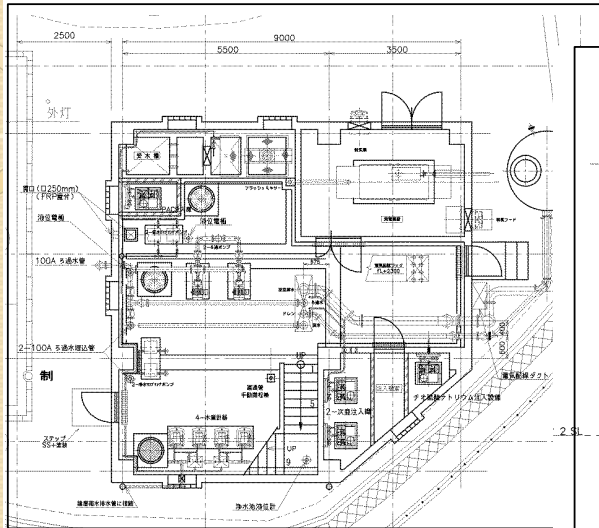
■現況(ガーデンモール)

■コンセプト
本広場に要求されているのは、地域の人々にとってコミュニティーの場となる『公共広場』である。整備後は主に祭事や野外コンサート等のイベントでの利用が想定される。
○集客対策
イベント集客対策として、計画に観覧スペースを配置。サンクンガーデンとする事でベンチを確保。また周辺にはベンチ活用できるフットライト、植栽帯を配置。更にデッキ幅を通行量からの算定値より1.50m広くし、デッキ上からの観覧も想定。
○動線計画
5,000人/日以上以上の歩行者が集中する計画地の特性から、イベントと通行動線の分離が必要と判断。サンクンガーデンとする事により、イベント時の交通動線の混在を防ぐよう計画。
○密集の緩和
計画地周辺にはガーデンモール、駅舎、マンションが孤立しており、圧迫感のある街並みとなっている。これを緩和するため計画地内には必要以上に地物を配置しないよう計画。サンクンガーデンとする事により、ベンチなどの地物を極力配置しないよう計画した。また植栽帯、フットライトについてもベンチ活用を想定する。

部門紹介 (上水道部門)

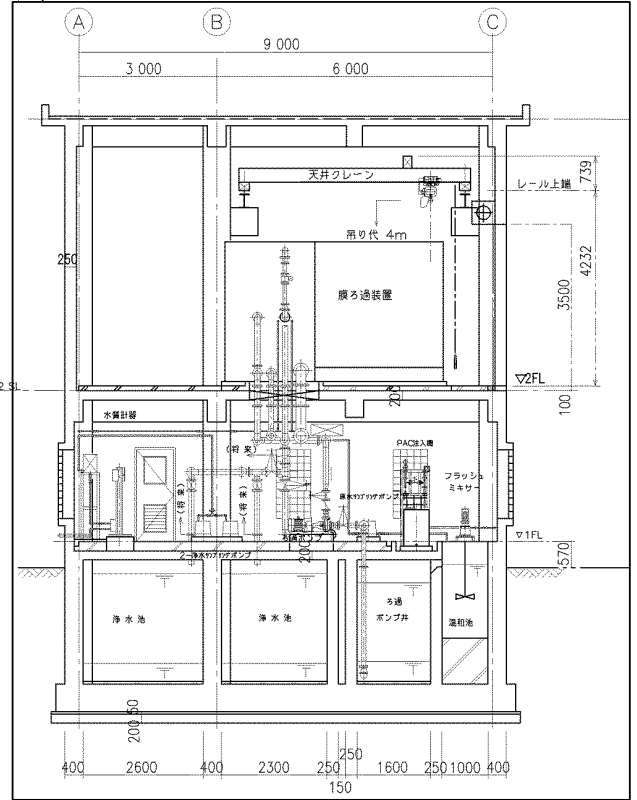
- 上水道技術者配置部署
 - 本社技術1部、神戸支店技術部、中四国支店技術部
 - 本社エンジニアリング部
- 弊社での主な業務内容
 - 計画系業務
 - 基本計画、認可計画、地域水道ビジョン、管網解析
 - アセットマネジメント計画、水質分析調査、施設更新計画等
 - 施設系業務
 - 浄水場施設計画(膜ろ過、高度浄水処理、紫外線等)
 - 施設耐震性能評価及び耐震補強計画
 - 施設劣化度評価及び補修対策計画
 - 配水池計画、ポンプ場計画、取水施設計画等
 - 管路施設系業務
 - シールド工法・推進工法による配管計画
 - 開削工法による配管計画 (エンジニアリング部門)
 - 水管橋の設計
 - 老朽管・石綿管・鉛管更新計画等

膜ろ過浄水場計画（山梨県下）

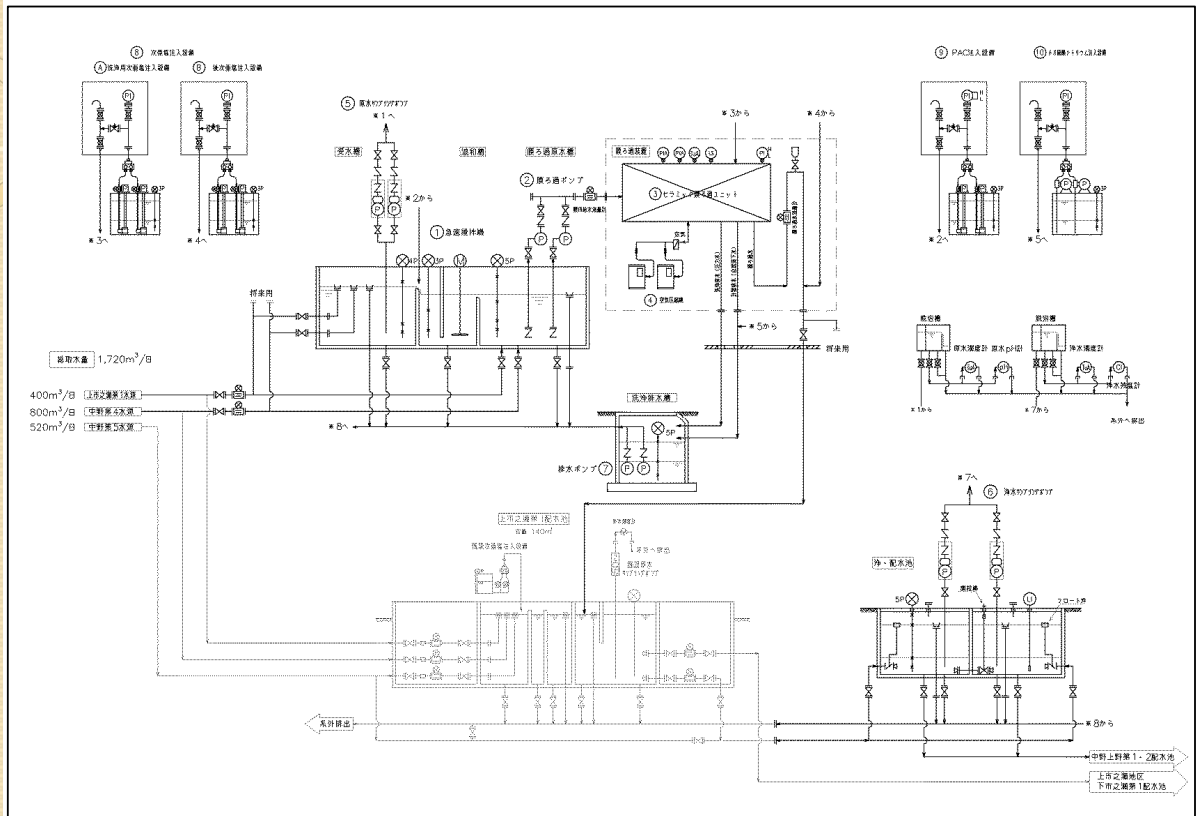


平面図

断面図



膜ろ過浄水場 浄水フロー

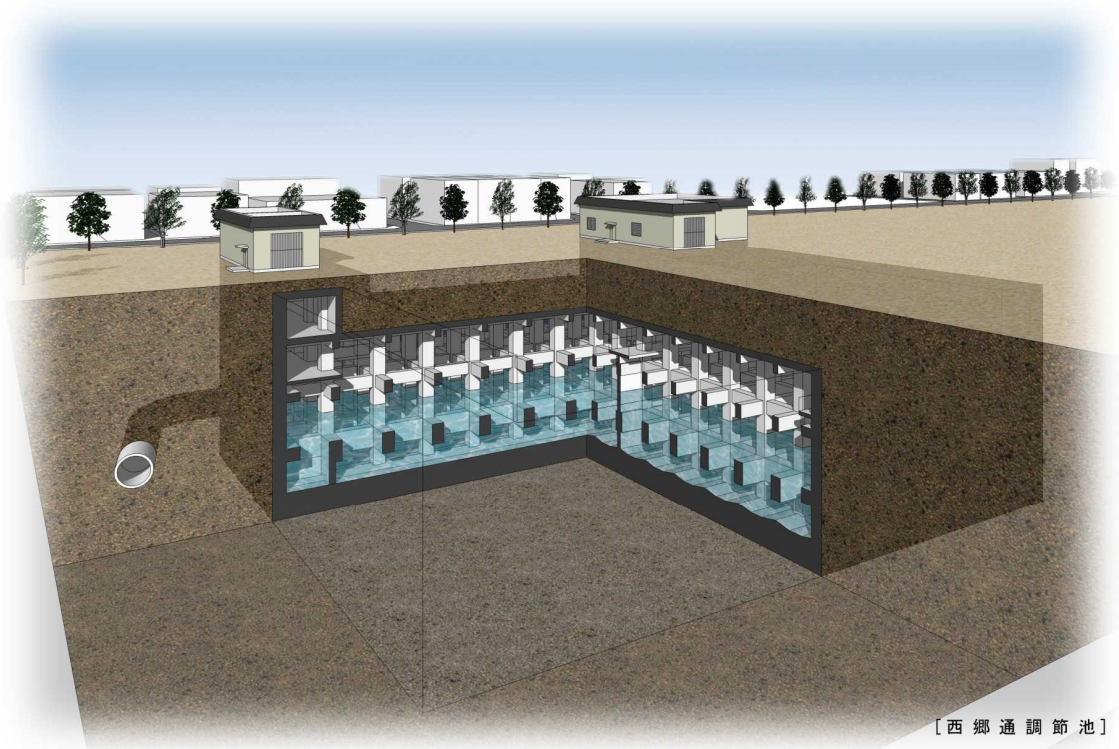


部門紹介（下水道部門）

- 下水道技術者配置部署
本社技術1部、神戸支店技術部、中四国支店技術部
- 弊社での主な業務内容
 - 計画系業務
認可計画、下水道施設長寿命化計画
浸水対策計画、合流式下水道改善計画、不明水対策計画
下水道事業再評価、各種指針・マニュアル作成等
 - 解析分析系
流出解析シミュレーション、不明水調査・解析
水路流況解析、大流量落差処理計画等
 - 施設系業務
浸水・雨水対策貯留施設計画
施設耐震性能評価及び耐震補強計画
施設劣化度評価及び補修対策計画
ポンプ場計画、各種災害対策計画等
 - 管路施設系業務
シールド工法・推進工法・開削工法による管路計画
マンホールポンプ場計画、管路施設改築・更新設計

浸水対策調整池 （大阪府寝屋川水系改修工事計画）

調整池容量 40,000m³



〔西郷通調節池〕

部門紹介

(現場技術・構造物調査部門)

- 技術者配置部署

本社 点検・調査部

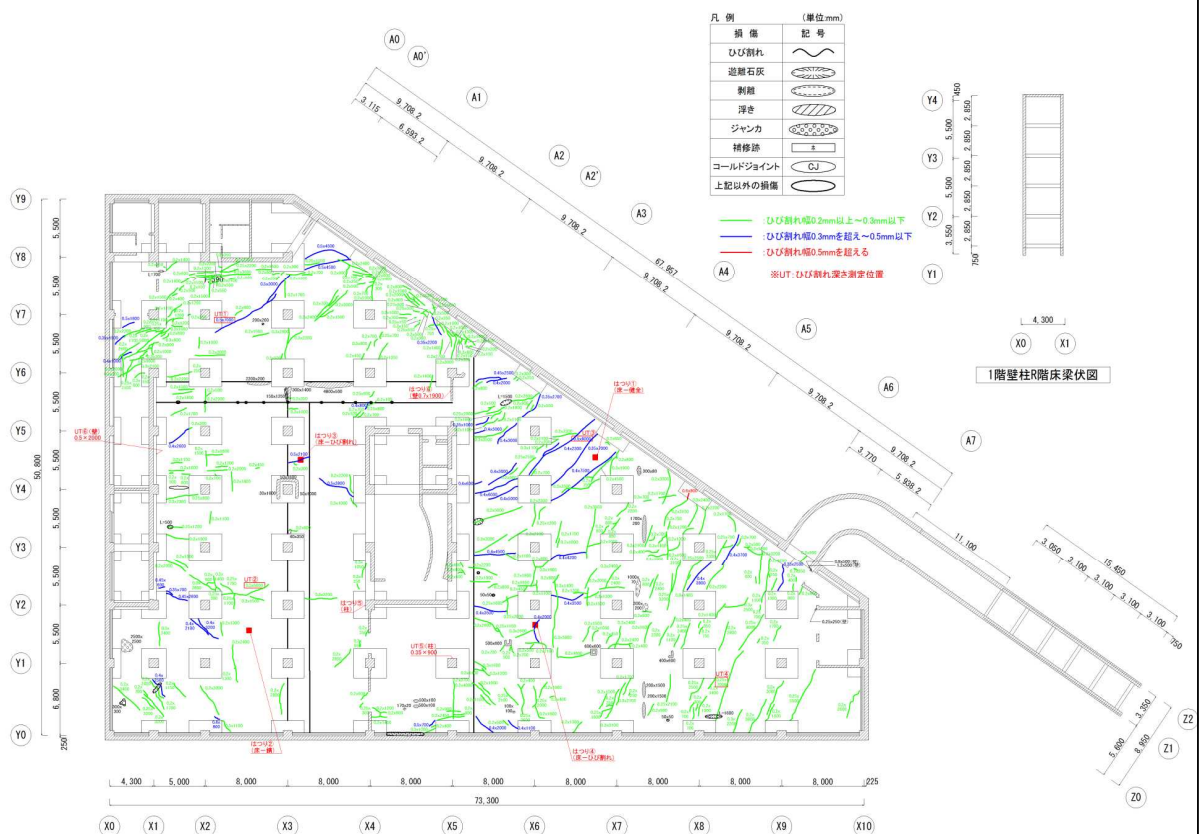
- 弊社での主な業務内容

現場技術 : 主に土木工事の関する発注者支援
及び施工管理業務

構造物調査 : 道路構造物・橋梁・上下水道施設等
の維持・更新のための点検・調査を
実施し、劣化状況及びその原因確認
を実施

構造物劣化調査

(大阪府下 地下駐輪場調査結果図面)



構造物劣化調査 (調査状況)



構造物のコア抜き作業



目視・打音点検状況



高所作業車による高架橋点検



打音点検状況

部門紹介 (測量・調査部門)

- 測量・調査技術者配置部署

本社サーベイ部

- 弊社での主な業務内容

- 測量業務

基準点測量、水準測量、地形測量
用地測量、路線測量、GPS測量、河川測量等

- 調査業務

交通量調査、流量調査（高水位、低水位）
各種構造物劣化調査（橋梁、配水池等）

弊社の特色(1/2)

- 建設・上下水で9部門登録のため、比較的多様な業務を経験可能である
 - ➡ オールマイティな技術者になれる
専門性の向上には多少自主性が必要
- 技術部門が案件の受注判断を行う
 - ➡ 業界比較で残業時間が短い
ワークライフバランスをコントロールできる
業務選定が可能である
受注量の責任を持つ必要がある
- 原則として転勤がない
 - ➡ 勤務地は可能な限り職員の希望に対応

弊社の特色(2/2)

- 技術者評価システムを採用している
 - ➡ 定量的な評価による職能システム
- 技術者教育、資格取得
 - ➡ 必要に応じた社内教育の実施
資格取得のサポート体制
- 風通しのよい会社である
 - ➡ 経営側との距離が近く話がしやすい

必要となる技術力

建設コンサルタントの仕事は責任のある、やりがいのある仕事です。これを行うためには、常に高度な技術力が求められ、経験や学習によって継続的に能力を伸ばすことが必要です

建設コンサルタントの資源は人材です。優秀な個人が十分にその力を発揮できる環境を持つことが、建設コンサルタントの未来を約束すると考えています

このため、弊社では働きやすい労働環境整備や、資格取得を含む各種技術力の継続研鑽を全力でサポートしています

● 問題対応能力

企画力、発想力、構想力、情報収集力
分析力、問題発見力、問題解決力
判断力、遂行力（工程管理）等

● 人間対応能力

コミュニケーション力、プレゼンテーション力
説得力、交渉力・調整力、合意形成力、マネジメント力
行動力、リーダーシップ力、教育・指導力 等

各種有資格者

● 技術士 33名

（建設部門：14、上下水道部門：13、応用理学部門：1、総合技術監理部門：5）

● RCCM 30名

（建設部門：17、上下水道部門：13）

● 土木施工管理技士 32名

（一級：25、二級：7）

● 測量士 42名

（測量士：21、測量士補：21）

● 建築士 3名

（一級：2、建築施工管理技士：1）

● その他

補償業務管理技士、水道施設管理技士、給水装置工事主任技術者
1級造園施工管理技士、コンクリート診断士、下水道管理技術認定
地質調査技士、酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者、道路橋点検士
コンクリート構造診断士、CALS/ECインストラクター等

福利厚生

- 各種社会保険加入
(健康保険、厚生年金、**企業年金基金**、雇用保険、労災保険)
- 労災補償保険加入
- 中小企業退職金共済加入

- 本社「友の会」(各種行事開催、クラブ活動補助)
クラブ活動：野球、ボーリング、サイクリング、その他
- 独身寮
- 社員持株制度
- 各種資格 取得助成、取得報奨金、資格手当
- 永年勤続表彰制度(10年、20年、30年)

社是

- **真摯** (常に真面目な態度で物事にあたる)
私たち一人ひとりが顧客をはじめ社内外そして社会全体に対して恥じることなく、あたえられたことに誠実に取り組み、今出来ることを全力で行うこと
- **創造** (今やっている方法はこれでよいのかもっとよい方法はないか)
私たちの業はものづくりの基礎である設計測量業であり、常にその時代にあった顧客の求めるものを作り出し、また、その生み出したものが社会に貢献し、利用されることで住民の生活が豊かになる
- **団欒** (お互いに信頼しよく話し合う)
一見、団欒とは楽しいものと思いがちだが、その影には良好なコミュニケーションや他の者を補う苦勞などの相互間の信頼関係があり、苦難を乗り越えて目標に向かって全員の力で成し遂げた時、本当の団欒が得られる

おわりに

ご清聴ありがとうございました

建設コンサルタントの仕事は、専門性の高い仕事であるため、厳しいものである時が多々あります
しかし、国民生活を支える社会資本（安全・安心で豊かな国作りの基盤）を整備するという大事な役割を持っている働き甲斐のある職業だといえます

弊社への申し込みを心よりお待ちしております

<https://www.naniwa-giken.co.jp/>

Mail : soumu@naniwa-giken.co.jp

お気軽に何でも お問い合わせください



Since 1962

株式会社 浪速技研コンサルタント

取締役 技術本部長 日室伸一

技術士(建設部門)
技術士(上下水道部門)



本社〒567-0041大阪府茨木市下穂積1-2-29
TEL (072) 623-3695(代) FAX (072) 623-4572
E-mail:himuro@naniwa-giken.co.jp